

1. 約束内容の概要

ノーリツグループは、関東地方及び東北地方における2010年度7月～9月の最大電力(ピーク)に対して、本年7月～9月の最大電力(ピーク)を15%以上削減すべく、以下の取組を進め、節電に努めます。また、昨年夏の最大の1日当たりの電力量に対しても、今年の最大の1日当たりの電力量が15%以上削減されるよう努めます。
上記、対象事業所だけではなく、全社的にも節電の取組みを推進していきます。

2. 目標達成状況

表1. 最大使用電力(ピーク)(kW) (目標:85%以下)

No.	事業所	最大使用電力(ピーク)(kW)									
		目標値	7月		8月		9月				
1	工場(東北・東京電力管内)	2,032	○	82.5%	1,972	○	82.5%	1,973	○	76.6%	1,861
2	工場(全国)	10,710	○	84.8%	10,680	×	85.9%	10,828	○	84.0%	10,579

表2. 最大電力使用量(kWh/日) (目標:85%以下)

No.	事業所	最大電力消費量(kWh/日)									
		目標値	7月		8月		9月				
1	工場(東北・東京電力管内)	26,667	○	73.3%	22,985	○	76.6%	24,022	○	63.4%	19,902
2	工場(全国)	138,483	○	80.7%	86,417	○	84.5%	90,500	○	81.1%	86,850

表3. 電力消費量(kWh/月) (目標:85%以下)

No.	事業所	電力消費量(kWh/月)									
		目標値	7月		8月		9月				
3	事務所(東北・東京電力管内)	144,296	○	70.0%	100,824	○	71.4%	102,799	○	72.3%	104,357
4	事務所(全国)	336,938	○	73.3%	246,989	○	73.3%	246,831	○	71.8%	241,964

1. 東北電力・東京電力管内の生産系事業所・事務系事業所は、最大使用電力(ピーク)(kW)及び最大電力消費量(kWh/日)ともに15%以上削減を達成した。
2. 8月において東北電力・東京電力管内ではない生産系事業所のひとつが最大使用電力(ピーク)において目標値を達成できず、85.9%になった。理由は気温上昇による空調運転、増産によるもの。
3. 東京電力管内の生産系事業所の2拠点において、太陽光発電200kW、50kWを急遽設置した。関西の生産系事業所でも75kW削減になるガスコージェネを設置した。
4. グループ全体での方策及び進捗状況確認のための環境会議を4回、社内説明会を4回、ワーキングを7回、節電パトロール2回開催した。

3. 今後の取り組み

1. 「夏の節電」においては、節電及びCO2削減(省エネ)で大きな成果があった。10月以降も運用面においてはほとんどの節電項目を継続している。
2. エネルギーの「見える化」が遅れている事業所もあり、今後「見える化」を順次進めていくと同時にグループ全体でエネルギーを収集・分析できる環境ITシステムを導入する。
3. 「冬の節電」として、関西電力・関西広域連合・政府ともに関西においては最大使用電力(ピーク)10%削減の要請を実施する予定。ノーリツグループとしては、10%以上削減を目標として全事業所で取り組む。(生産系事業所の多くは関西にある。)
4. 今回の夏の節電は緊急であり、計画が不十分なところもあった。今後は、設備投資・運用面の計画を重視したエネルギー